

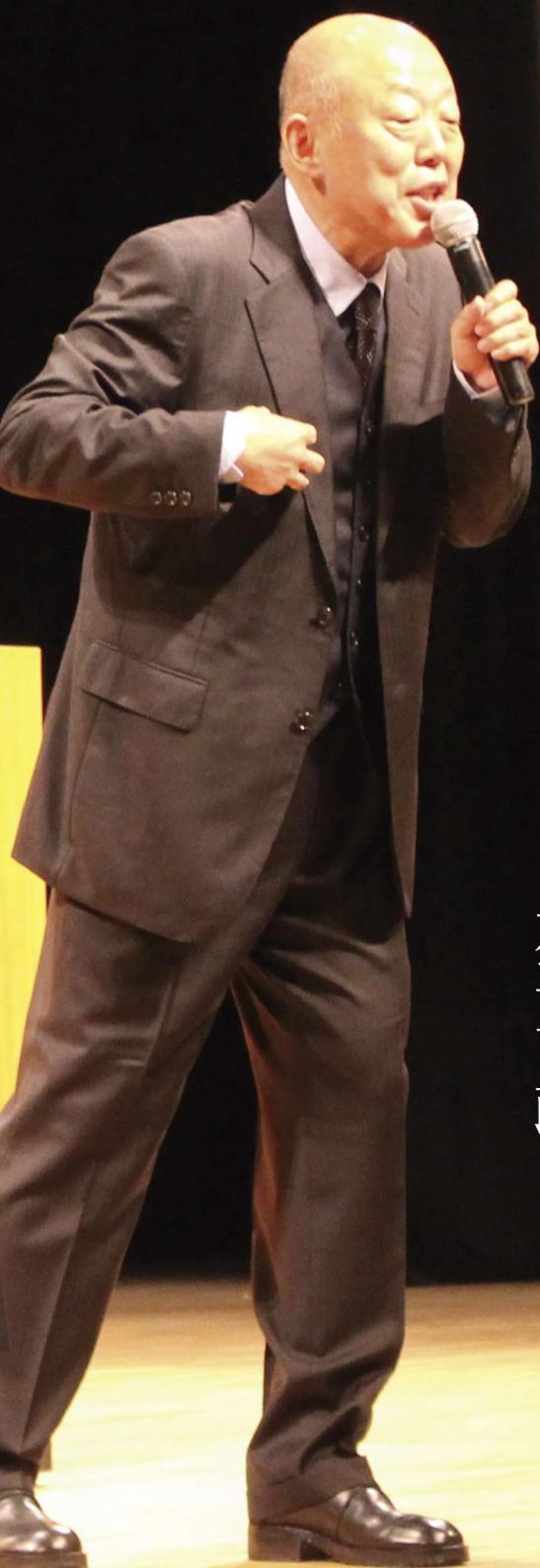
# たむら社協だより

## 特集

赤い羽根共同募金運動が  
はじめました。

私たちも、に助けられました。

共同募金の歩み



## 六平流、人生論。

〈演題〉人の優しさと企業の油断

講師 六平直政氏(俳優)

福祉文化講演会

ピックアップピックス

平成30年度社会福祉法人田村市社会福祉協議会



「たむら社協だより」の作成経費の一部は、  
共同募金の配分金を受けて作成させていただいております。



人生論。  
講師  
俳優  
六平直政氏



## 福祉文化講演会

〈演題〉人の優しさと企業の油断

9月30日(日)、田村市文化センターにおいて

「福祉文化講演会」を開催しました。

この事業は、住民相互の支えあいと福祉活動への参加と理解への期待、さらにはあらゆる角度から視野を広げることで、豊かな心と次世代への夢と希望を育み、田村市の福祉文化を共に築いていくことをを目指し、開催しています。

三回目の開催になる今回、講師にお迎えしたのは、人情味あふれる演技と今や映画・ドラマ・舞台には欠かせない俳優の六平直政さんです。

暗闇に音楽と手拍子が鳴り響く中、登場した六平さんは、会場からは大きな拍手と歓声が沸きあがり、「みなさん、『福祉』の意味って知っていますか?」と

「障がいを持って生まれても、いすれば社会に出なければならぬ。だから、義務教育は健常者の子たちと一緒に過ごすことができる場所。」「ハンディは決して不幸なんかではなく、障がいを持つ弟の存在のおかげで、家族みんなが幸せだった。」

など、これまで知ることのなかった六平さんのご家族のエピソードから、聴講された皆さん的心に残る言葉が沢山あったのではないでしょうか。

六平さんにしか話せない、力強くユーモアと温かみがある口調で、一人の人間「六平直政」を感じることができます。講演会になりました。

今回ご聴講頂いた皆さんの感想を「Sotto Voce」に掲載していますので、そちらもご覧ください。

### 【福祉文化講演会の目的】

この事業は、著名な方のお話を通じて、社会福祉協議会(以下:社協)の存在を知ることとともに、社協をより身近に感じていただき、市民の皆さんも社協の一員として田村市の福祉文化を共に築いていくことを目的に、平成28年度より田村市社協が開催しております。

開催にあたり、今年度も一部「台湾友好基金」による東日本大震災救援プロジェクト被災地支援地域福祉活動の助成を活用させていただいております。



六平直政氏の  
直筆サイン入りうちわ  
3名の方に当たる!  
P.11「まちがいさがしコーナー」をチェック



むさかなおまさ  
講師 六平直政氏 (俳優)

唐十郎主宰の劇団状況劇場を経て、新宿梁山泊の旗揚げに参加。「ジャズ大名」で映画初出演。以降、独特の風貌を生かして映画・舞台・ドラマと幅広く活躍中。【代表作】  
◎「シコふんじやつ。」(1992年 周防正行監督)◎「忠臣蔵外伝 四谷怪談」(1994年 深作欣二監督)◎「スーパーの女」(1996年 伊丹十三監督)◎「花の生涯~梅蘭芳~」(2008年 陳凱歌監督)◎「一枚のハガキ」(2010年 新藤兼人監督)◎「ヤクザガール 二代目は10歳」(2011年 セルゲイ・ボドルフ監督)





# 「24時間テレビ・愛は地球を救う41」チャリティーモニタ



8月26日(日)、「24時間テレビ愛は地球を救う」チャリティーモニタ募金活動として、ふねひきパーク・リオンドール船引店の二店にご協力頂き、店頭で募金を呼びかけました。

この活動は「24時間テレビ・愛は地球を救う41」の趣旨のもと、市内ボランティア活動の皆さんと本会員有志職員による社会貢献ボランティア活動の一部です。昨年に続き、職員の子どもや孫も参加し、元気に呼びかけを頑張ってくれました。

「昨年から準備してたよ!」と缶や袋に目いっぱい入れてお持ちいただいた方も多く、またお子さんから市外の方、本当にたくさんの方から浄財をいただきました。ご協力いただき、喜びややりがいを感じることができました。

たくさんの皆様からお預かりした浄財は、9月3日に福島中央テレビ24時間テレビチャリティーモニタ長の堀越徹常務取締役に手渡して参りました。また、昨年に続き、活動に対して感謝状をいただきました。

ご協力頂きました店舗様、そして募金していただきました多くの皆様に感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。



ふねひきパーク	109,767円
リオンドール船引店	162,537円
総額	272,304円

## 遊び出せ! ピピットさん

### 「イザ! カエルキヤラバン」に 潜入!

9月9日(日)船引公民館で、「防災のことをゲームで学びながら、おもちゃのかえっこができる!」という、とても楽しいイベントがあると聞いて、ピピットのお友達と一緒に行つてきました♪

そのイベントとは、公益社団法人日本青年会議所東北地区福島県ブロック協議会主催の「イザ! カエルキヤラバン!」。青年会議所では、各地域で災害時に互いに助け合うための体制を構築する運動をしているんだって。

会場に入つてみると:いろんなおもちゃがたくさん!おもちゃを持ってきて交換するか、防災体験プログラムにチャレンジしてカエルポイントをためて、おもちゃをゲットできる「かえっこバザール」っていうんだって♪さっそく、カエルポイントを集めにしゅっぱーつ!

楽しく遊びながら、防災や災害時に役立ついろんなことを勉強できる「イザ! カエルキヤラバン!」今度は、南相馬で開催するみたい。楽しかったから、ピピットたちもまた遊びに行ってこようかな?みんなも、近くで開催するときにはぜひ参加してみてね!

紙芝居を見たり、新聞を折つて食器を作つたり、棒と紐・シーツで作れる簡易テント「ディペー」を組み立てたり、毛布を担架にしてコースを走るタイムトライアルに挑戦したり。非常時持ち出し品の記憶力クイズや、カードゲームでAEDや止血の方法・応急手当の仕方が学べたりと、楽しく勉強できるプログラムばかり! 参加してくれたお友達と一緒に楽しみながらたくさんのこと勉強してきたよー! カエルポイントも、いっぱい集めることができますよ! 集めたカエルポイントで、ちょうど良いおもちゃがゲットできる「かえっこオータンション」にも参加しましたよ♪ 楽しかった~!





WEBサイトも見てね！



10月1日から3月31日まで  
全国一斉に行われます

12月1日から始まる「歳末たすけあい募金」も  
共同募金運動の一環として行われます。

# に助けられました。

## 都道府県ごとに使われる募金です

募金運動は全国一斉に行われますが、集まった寄付金は県内において「民間の社会福祉の資金」として幅広く使われています。



訪ねてくれるのを待っています



算数や国語、社会、理科など  
幅広く活用できました

## 地域の様々な福祉活動に役立てられる募金です

赤い羽根共同募金は、地域の子どもたち、高齢者、障がい者などを支援する様々な福祉活動に役立てられています。災害が起きたときには災害ボランティアセンターの設置や運営、被災者支援などにも使われます。



ひとりで食べるご飯と違う味がする

## 赤い羽根共同募金は、計画募金です

今年集まった募金は、これらの地域福祉を推進するための事業に配分される予定です

赤い羽根共同募金 ..... 2,120,000円

(平成31年度に実施される事業に配分されます)

地域ささえあい活動助成	800,000円
いきいきサロン助成金	90,000円
ひとりぐらし高齢者「ふれあい会食会」	45,000円
小地域福祉ネットワーク推進事業	100,000円
市民講座	40,000円
広報発行事業	640,000円

[事業実施主体：田村市社会福祉協議会]

歳末たすけあい募金 ..... 3,000,000円

(平成30年度の歳末たすけあい事業に配分されます)

歳末地域コミュニティ創出事業	800,000円
ひとりぐらし高齢者歳末友愛訪問活動	550,000円
歳末義援金配分事業	1,280,000円
[事業実施主体：田村市社会福祉協議会]	
老人クラブ歳末友愛訪問事業助成金	370,000円
[事業実施主体：市内老人クラブ連合会]	



様々な活動に  
有効活用され  
るんだね。

II  
おたがいさま  
コソサート  
ほか  
ほか  
歌手で女優の吉沢梨  
絵さんが出演決定！  
発表団体：都路小学校



○○会場  
○○入場料  
開催日時  
12月22日(土)  
開場時間  
平成30年12月22日(土)  
開場料  
無料  
詳細は、田村市社会福祉協議会ホームページ、  
Facebook等でお知らせします。

みんなのやさしさにありがとう  
支えあいのココロ感謝祭



○12月22日(土)  
支えあいのココロ感謝祭(田村市文化センター)  
○10月27日(土)・28(日)  
常葉地区文化祭(文化の館ときわ前)  
○10月14日(日)  
おおごえ秋穫祭(大越武道館)

秋からのイベント会場でも  
赤い羽根募金を呼びかけます！

とても良かったです。妹の子供もダウン症でしたが、小中普通の学校でした。やはり兄もいたけど助け合っていました。  
その子も今ではNPO法人の会社に行って福祉のことにつながっています。 #六平流、人生論。#福祉文化講演会



乗り心地も良く  
使いやすくなりました

生活にはりがで  
健康になりました



自分たちでは限界があり  
困っていたところでした

## 目標額をもとに毎年募金を呼びかけます

(目標額=配分に必要な資金の総額)

平成30年度

田村市の共同募金運動目標額…8,000,000円

### ◎ 内訳

赤い羽根共同募金 ……………… 5,000,000円

(3割が県域の福祉事業へ。7割が田村市の福祉事業へ配分されます。)

地域歳末たすけあい ……………… 3,000,000円

(全額田村市の歳末たすけあい活動に配分されます。)

※寄付は自発的に行うものであり、強制で行うものではありません。  
目標額はあくまでも目安です。



ボランティアさんの一生懸命な姿に  
勇気と希望をもらいました



たくさん笑って気持ちのいい汗を  
流すことができました

## 田村市では、7つの募金方法で 展開しています

### ◎ 戸別募金

行政区長さんを通して、各ご家庭に  
協力をお願いしています。

### ◎ 街頭募金

「街頭募金」：街頭やスーパー、市  
内の商店、各種施設等人の集まる  
場所や店頭で募金箱を使って募金  
を呼びかけています。

### ◎ 法人募金

市内の各企業に対し募金の協力を  
お願いしています。

### ◎ 職域募金

企業の従業員の方や、官公庁・各  
種機関の職員の方々に対し、募金協  
力をお願いしています。

### ◎ 学校募金

赤い羽根共同募金を通じて、子ども  
たちのやさしさ・思いやりを育てる福  
祉教育を目的に、各学校の児童・生徒  
のみなさんに募金活動を呼びかけて  
います。

### ◎ イベント募金

市内の各種イベント会場内でブース  
を設け、様々な企画で来場者に募金を  
呼びかけています。

### ◎ その他の募金

- ・市内の各種団体等での募金
- ・市内の各種窓口・店頭に募金箱を  
設置し募金を呼びかけています。
- ・「じぶんの町を良くする自販機。」  
(募金型飲料自動販売機)、ガチャガ  
チャ、寄附つき資材等、さまざまな募  
金方法でご協力をいただいている。

## 私たちも、税制上の優遇措置があります

### ◎ 個人の寄附の場合

寄附金が2,000円を超える場合、所得税の寄附  
金控除及び住民税の寄附金税額控除の対象となり  
ます。

所得税における控除では、所得控除か税額控除の  
どちらかを選択することになります。

### ◎ 法人の寄附の場合

株式会社などの法人の場合は金額については  
「全額損金」扱いとなります。



自分の仕事に誇りをもち、自信となり、  
日々の作業の励みになっています

あの人を、すべての人を、支えたい。

## 赤い羽根共同募金



この企画は、昨年の「職域  
募金」を通じて募金をしてく  
ださった皆さんへのノベル  
ティとして製作しました。  
田村市をイメージする緑色に  
「赤い羽根共同募金」のロゴ  
と、70周年を記念して誕生し  
たキャラクター、そして田村市  
共同募金委員会と印字した  
ノック式のゲルインキタイプ  
のボールペンです。

今年は、「職域募金」以外の  
イベント会場等でも200円  
以上の募金をしてくださった  
方へプレゼントさせていた  
だく予定です。

このコーナーでは、  
田村市共同募金委員会が  
企画・製作した資材等を  
ご紹介します。



じぶんの町を  
良くするペン。

企画第6弾！



## 5 昭和50年代

小規模作業所は、昭和50年代に急速に数を増やし、共同募金から全国的に特別配分が行われました。働く女性の増加により保育所が急激に増え、共同募金は昭和51年には、保育所3,571か所へ4.7億円を配分。10年前より倍増しました。昭和50年福岡県春日市でひとり暮らしの老人のための給食サービスがスタート。共同募金の助成により全国へ広がっていきます。



## 6 昭和60年代

障がい者スポーツなどにも、共同募金の支援が行われるようになりました。障がい者の社会参加のための配分メニューが作られ、全国で特別配分が行われました。ディーサービスセンターなど、地域の高齢者が参加するさまざまな活動への支援も行われていきます。



## 7 平成初期

在宅福祉サービスと施設福祉サービスを地域の実情に応じて一元的かつ計画的に実施する体制づくりを行うことを目的に、社会福祉事業法を含めた福祉8法が改正されました。平成7年の阪神・淡路大震災も契機となり、ボランティア団体や非営利団体の支援に向けた配分がされるようになっていきます。



## 8 そして現在

地域では社会的孤立の状態にある人々が増加するとともに、孤立がもたらす孤立死、自殺の問題をはじめ、不登校や引きこもり、経済的困窮や虐待、DVなどの課題が顕在化してきています。課題に対応する新しい制度は次々と取り入れられていますが、制度ができると必ずすき間ができます。共同募金は戦後一貫して、刻々と変化するニーズに臨機応変に対応するため、事業を開拓し、開発し、課題にそそ即応した解決の仕組みづくりを行ってきました。これは制度の「すき間」を埋める絶え間ない努力の歴史です。共同募金は、今後も、地域の支え合いを基本に、社会の課題を解決する動きを、全国で作りだしています。

**70周年を記念して、中央共同募金会では「おたがいさまの歌」を作りました。赤い羽根の歴史と、その精神を歌にし、「あの人、この人、すべての人を笑顔にしたい。」そんな気持ちを込めた動画です。**



ムービー公開中!



こちらのQRコードから、スマホでも視聴できます。▲

### 変わる、赤い羽根共同募金

昭和22年、戦後の厳しい生活中で、お互いに助け合って生きていくこうという強い連帯感から、誕生した赤い羽根共同募金。70年が経過し、私たちを取り巻く社会状況は大きく変化し、共同募金は新たな役割を期待されています。

### 参加と協働による 「新たなたすけあい」の創造

共同募金は、運動創設70年を迎ました。戦後間もなく「国民たすけあい運動」として開始された共同募金は、当初戦後復興の一助として戦災孤児など生活困窮者の支援に充てられてきました。

その後、時代の要請に合わせて、子どもの遊び場、障がい者の小規模作業所、高齢者等への在宅福祉活動、そして、現在のような多様な地域福祉活動を支える募金へと、柔軟にその役割を拡大・変化させてきた一方で、日本各地の社会的課題は多様化、複雑化しており、課題解決のための活動の増加に伴い活動に必要な資金ニーズも増大しています。

共同募金が、こうした要請に十分に応えられるよう、より一層の国民の支持を得て運動を活性化していくためには、子どもから高齢者まで、さまざまな地域住民が参加できる最も身近な社会貢献のしくみであり、そのしくみをさらに発展させ、次の世代に継承していくことを願っています。

# 共同募金の歩み

共同募金運動は、第二次世界大戦後、1947(昭和22)年に「国民たすけあい運動」として始まりました。「困ったときはお互いさま」の気持ちから、第1回目の共同募金運動ではおよそ6億円の寄付金が寄せられました。現在の貨幣価値にすると、1,200億円に相当するといわれています。

現在では、「社会福祉法」に定められた地域福祉の推進を目的に、さまざまな地域の課題解決に取り組む民間団体を支援する「じぶんの町を良くするしくみ。」として、地域のさまざまな福祉活動を支援しています。



## 1 昭和20年

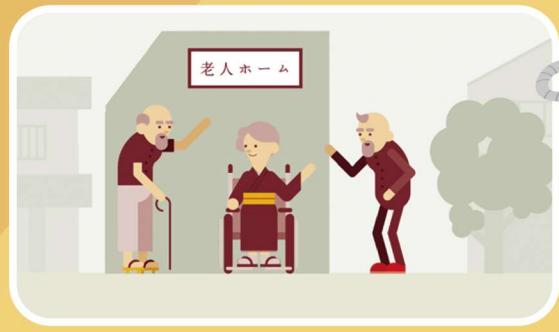
日本は、敗戦による深刻な社会的・経済的混乱の真っただ中にありました。戦争で犠牲になった多くの人の遺族をはじめ、空襲の被災者、外地からの引揚げ者、復員軍人、さらには抑留者の留守家族、戦時産業からの失業者等、多くの人々が生活援護の必要に迫られていました。

当時の厚生省によると、全国で保護が必要とされる世帯は90万世帯以上、人数にして316万人。大都市には、戦災孤児が数十万人もいたと言われ、国民全体が食糧難や住宅難に直面し、急激なインフレに苦しい生活を強いられていました。戦前、全国に6,700か所余りあった私設社会事業施設は、戦後3,050か所に激減。しかもその大半が、戦災により致命的損害を受けていました。生活困窮者を援護すべき民間社会事業施設そのものが、困窮の極みだったのです。



## 2

このような状況の中、昭和22年に、第1回共同募金運動が全国的に展開されました。第1回の共同募金は、住まいを焼かれたり、親をなくした孤児たちの支援に力点が置かれました。しかし、共同募金が始まった当初は公的な施策が整わず、その場しのぎのための支援が、共同募金によって行われました。



## 3 昭和30年代

共同募金は、民間の社会福祉施設の建物の増改築や、生活に困っている人たちの支援に役立てられていました。

老人ホームへの入所を希望する人が増え、老人福祉施設の数は急速に伸びを見せます。一方で、この頃から市町村社協の組織化が進むに伴い、地域全体の福祉を高める活動への支援が徐々に増えました。

## 4 昭和40年代

共同募金は、子どもの遊び場整備に力を入れ、1967年から12年間で、全国2万か所に11億円を配分しました。手話研修が盛んになり、共同募金はさまざまなボランティア活動の活性化にも役立てられました。

## キッズチャレンジ！参加者募集

Tabora Youth Project事業の一環として、「友だちと楽しく作って、みんなで美味しく食べる」をモットーに、料理体験＆交流会をおこないます。全2回、どちらか1回だけの参加でもOKです♪

料理が苦手な子、これから料理を覚えたい子、いつもお手伝いしている子。自分ができることで、料理にチャレンジしよう！兄弟やお友達を誘って、ぜひご参加ください☆



### 第1回 クリスマス会をしよう！

日程：平成30年  
12月26日(水)

### 第2回 お弁当を作りましょう！

日程：平成31年  
1月19日(土)

- 内 容：料理体験 & 交流会
- 時 間：午前9時～午後2時(予定)
- 場 所：船引公民館 調理室&ホール
- 対 象 者：小学3年生～高校3年生
- 定 員：20名程度
- 参 加 費：1人1回 500円
- 持 ち 物：エプロン、飲み物、はし、お弁当箱(第2回のみ)
- 申込方法：電話または直接お申し込みください。
- 名前・住所・連絡先・希望する参加日をお伺いします。
- 申込締切：12月7日(金)

#### 注意事項

- 食物アレルギー等がある場合、必ずご相談ください。
- 包丁等の刃物を使用します。調理にはできる範囲のことでのご参加いただきますが、ぜひ家庭でも練習をお願いします。
- ご家族の同席を希望される場合には、ご連絡ください。



## サマーショートボランティアスクール



市内中高生による、夏休み期間を使ったボランティア体験事業「サマーショートボランティアスクール」が、8月10日に開催した閉講式をもって、全日程を無事終了しました。

田村市内の児童施設・高齢者施設での、3日前後のボランティア活動を経て、参加者は多くの学びを得ることができたようです。困ったこと・大変だったことももちろんあったようですが、それ以上に楽しさや喜びを得ることができたようです。また、今回の体験が将来を考えるきっかけになったという参加者も多く、とても嬉しく思います。

今年度、受け入れにご協力いただいた皆様、協力を快諾してくださっていた皆様に、心から御礼を申し上げます。



#### 参加者からの声

- 大変なことも多く、心が折れそうになりましたが、子どもたちの笑顔に助けられました。
- この体験をいかして、さまざまなことに積極的に参加してみたいです。
- 「ありがとう」と先生方に言われて嬉しかったです。
- 今回の体験をいかして、今後保育師を目指していきたいと思いました。

## 活動報告



## わくわく隊 サポートボランティア

6月～9月に開催したわくわく隊では、安全に・より楽しく活動できるように、Tabora Youth Projectから4名のボランティアが協力してくれていました。

特に第2回では昼食の準備や後片付け・隊員の引率などを、笑顔で自主的・自発的に、互いに協力して取り組んでおり、その姿はボランティアの鏡。わくわく隊の隊員も、地域の先輩たちの素晴らしい姿を見て、将来自分たちもボランティア活動を…と考える、きっかけになればいいなと思います。



## 福祉ジュニア ボランティアスクール わくわく隊



市内小学4～6年生の隊員17名と、様々な体験をおこなうわくわく隊。今回は第2回(7月26日)の活動をご報告します！

この日は、本宮市にある「Kふあーむ」にお伺いしました。Kふあーむでは、特別養護老人ホーム・多機能支援センター・牧場・畑・レストラン等多様な施設があり、その中で隊員は、野菜収穫や卵洗浄・薪割りなど、みんなで協力しながら様々な体験にチャレンジしました！初めて体験するものもありましたが、職員のみなさんにサポートいただき、しっかりとやり遂げることができました♪

また、職員の方から障がいや福祉についてお話をいただき、理解を深めました。たくさんの学びや体験をさせていただき、本当にありがとうございました！





# ボランティアセンター通信

このコーナーでは田村市ボランティアセンターからの情報を発信します  
【申し込み・お問い合わせ】ボランティアセンター(地域福祉係内) ☎68-3434



## 平成30年度 福島県総合防災訓練 災害ボランティアセンター運営・設置訓練

### 被災された方の相談受付



### 災害ボランティアセンターでの流れ



#### 災害ボランティアの受付



#### 活動先の紹介（マッチング）



#### オリエンテーション



#### 送り出し（活動内容の確認）

#### 【災害ボランティアセンターの機能】

##### 紹介所能

- ボランティアが必要な方と、ボランティアをコーディネートする（活動を紹介する）

##### 案内所能

- ボランティア活動を希望する方の支援（活動に必要な情報の提供等をおこなう）
- ボランティアが必要な方に、災害ボランティアの案内をする

##### 相談所能

- 被災された地域の皆さんの心配事や困りごとを聞き、生活を取り戻せるようにお手伝いする
- ボランティアの皆さんの相談を聞き、良い活動のために共に考え、取り組んでいく



災害ボランティア活動が行われます

## 高齢者疑似体験 & 車いす体験

田村市立芦沢小学校にて、高齢者疑似体験・車いす体験を行いました。

高齢者疑似体験では、老化による体の変化やどんな動きが難しくなるのかを体験。小銭が出しにくい！この色が見えにくい！などと、子どもたちは様々な感想を教えてくれました。

車いす体験では、車いすを自分で動かして多目的トイレに入ったり、段差やスロープを介助してもらったりと、校内各所で体験を行い、どんなことを手伝ってもらうと嬉しいか・どんな風にされると助かるかなど、体験を経て感じたことから、これから自分にどんなお手伝いができるかを考えてもらったところ、「ゆっくりと耳元で話す」「どこが痛いか考えて、お手伝いする」「一緒に歩く」など、様々な意見を出してくれました。

今回知ったこと・体験したことを活かして、多くの方の支えになって欲しいと思います。ありがとうございました！



# INFORMATION



平成30年度

## 日本赤十字活動資金への ご協力ありがとうございました



5月の赤十字運動月間に田村市地区でご協力いただきました赤十字活動資金は、次の通りです。

※赤十字の活動資金は、「募金」ではなく、赤十字を理解、支援してくださる地域の皆様にご協力いただく資金をいいます。

**平成30年度 田村市地区の実績総額 5,083,800円**

(H30年9月30日現在)

滝根分区	614,000円	2,000円以上	2人	8,000円 (6,000円:1人 2,000円:1人)
		500円以上	1,212人	606,000円 (500円:1,212人)
大越分区	664,000円	2,000円以上	3人	9,500円 (5,500円:1人 2,000円:2人)
		500円以上	1,143人	654,500円 (1,000円:166人 500円:977人)
都路分区	362,500円	2,000円以上	1人	10,000円 (10,000円:1人)
		500円以上	705人	352,500円 (500円:705人)
常葉分区	794,500円	2,000円以上	21人	46,000円 (2,500円:8人 2,000円:13人)
		500円以上	1,497人	748,500円 (500円:1,497人)
船引分区	2,648,800円	2,000円以上	26人	52,500円 (2,500円:1人 2,000円:25人)
		500円以上	5,170人	2,585,500円 (500円:5,169人 1,000円:1人)
		500円以下	36人	10,800円 (300円:36人)

※目安として年額500円以上のご協力ををお願いしていますが、2,000円以上を継続してご協力していただいた方には、赤十字NEWSの送付及びその累計額により表彰させていただきます。(税制上の優遇措置あり)

日本赤十字社が国内外で行っている人道支援活動は、皆さまからご協力いただいた活動資金により支えられています。

その中で、田村市地区が直接対応する使いみちを一部ご紹介します。



### 緊急セットの一覧

タオル／ウェットティッシュ／ポケットティッシュ／軍手／ゴム手袋／ビニール袋／コップ／スプーン・フォークセット／物干しロープ／洗濯バサミ／救急包／創膏／弾力包帯／ガーゼ／マスク／歯ブラシ／毛布／風呂敷／携帯ラジオ（アルカリ乾電池単3型2本含む）／懐中電灯（アルカリ乾電池単4型4本及びストラップ含む）／天チャックポーチ／鉛筆／メモ用紙／ブックレット（「災害時に気をつけたいこと」）／バッグ（外袋）

火災及び自然災害により罹災した世帯に対し、日用品セットをお届けするほか、災害見舞金（死亡者がいる場合は弔慰金）を交付しています。

### 災害見舞金 の交付

火災及び自然災害により罹災した世帯に対し、見舞金を交付しています。

田村市地区から罹災者一世帯につき 5,000円

### 災害弔慰金 の交付

火災及び自然災害により死亡した者の遺族の代表者に対し、弔慰金を交付しています。

田村市地区から遺族の代表者 10,000円

福島県支部から死者一人につき 10,000円

また、その他にも田村市地区・各分区の赤十字事業、活動にも皆様の社費が役立てられています。

田村市地区・分区では、多くの赤十字の事業、活動に多くの市民の皆様にご参加いただき、より一層赤十字の役割等を知っていただけるよう、ご参加をお待ちしております。

## 赤十字講習会 開催のお知らせ

田村市民を対象とした赤十字減災セミナーを実施いたします。

各分区ごとに実施しますが、どの分区での事業に何ヶ所も参加可能です。

詳細については、各分区へお問い合わせください。



日時 11月18日(日) 9:30～12:00

場所 天地人大学

内容 幼児安全法

問合 ☎ 78-3822 (滝根支所内)

日時 11月10日(土) 9:30～12:00

場所 おおごえふるさと館

内容 健康生活支援講習

問合 ☎ 68-3434 (本所内)

日時 11月25日(日) 9:30～12:00

場所 都路保健センター

内容 救急法

問合 ☎ 75-3319 (都路支所内)

日時 11月11日(日) 9:30～12:30

場所 常葉老人福祉センター

内容 災害時炊出し訓練

問合 ☎ 77-2714 (常葉支所内)

日時 11月17日(土) 9:30～12:30

場所 船引保健センター

内容 災害時炊出し訓練

問合 ☎ 82-2943 (船引支所内)

※「災害時炊出し訓練」は、費用の一部として200円のご負担をお願いします。

## 平成30年度「地域ささえあい活動助成」 応募受付期間 延長のお知らせ

現在の応募状況は下記のとおりです。住民の皆さんの「支え合い活動」を支援する助成です。



◆応募総数：17件

◆決 定：10件 493,000円 (内減額1件)

◆不 決 定： 3件

※10月1日現在

この事業は、皆さまから頂いた赤い羽根共同募金の配分金と社会福祉協議会費を財源とし実施している助成事業です。

沢山のご応募をお待ちしています。※予算額に達し次第終了

## 善意のご寄付 有り難うございます

本会に対し、善意のご寄付をいただきました。厚く御礼を申し上げますとともに、お寄せいただいた淨財は地域福祉の向上のため有効に活用させていただきます。



郡山ヤクルト販売株式会社様

### 【御遺志】

#### 猪俣町

吉田 秀和 様(故 吉田 イチ 様)

会田 裕一 様(故 会田 フク 様)

富岡 裕勝 様(故 富岡 光喜 様)

櫻田 善保 様(故 櫻田 トキ 様)

佐藤 吉正 様(故 佐藤 フジエ 様)

吉井 数一 様(故 吉井 コト 様)

吉田 武則 様(故 吉田 ハツヨ 様)

佐藤 淳一 様(故 佐藤 四郎 様)

村上 秀一 様(故 村上 一益 様)

#### 大越町

遠藤 寿栄 様(故 遠藤 豊子 様)

#### 都路町

村上 正好 様(故 村上 好治 様)

### 【篤志】

#### 常葉町

望月 隆司 様(7月、8月、9月)

#### 船引町

田村産業株式会社 代表取締役 渡辺 隆治 様

#### 郡山市

郡山ヤクルト販売株式会社 代表取締役 長谷川 進 様

#### 静岡県

望月 威男 様(7月、8月、9月)

※今回掲載致しましたご寄付は、  
平成30年9月20日現在の受付分です

## 環境美化ボランティア ありがとうございます

社協の各支所にて、団体や児童・生徒の皆さんに草刈りや窓ふきなどの環境整備にご協力いただきました。ありがとうございました。



#### 大越町

大越町商工会女性部(6名) みどり荘周辺草むしり

大越町赤十字奉仕団(16名) みどり荘周辺草刈り

#### 常葉町

田村市立常葉中学校生徒(22名) 常葉デイサービス施設清掃等

常葉町老人クラブ連合会(19名) 常葉老人センター敷地内草刈、植木剪定

#### 船引町

田村市立緑小学校児童(8名) 船引北部デイサービス玄関等窓拭き

## 生活福祉資金 「教育支援資金貸付制度」のご案内

福島県社会福祉協議会では、他の貸付制度が利用できない低所得世帯を対象に、高校、専門学校、大学等への就学に必要な経費の貸付を行っています。



### ○貸付資金の種類

#### ①教育支援費(就学に必要な経費)

授業料、学用品、通学定期代、賃貸アパート家賃など

#### ②教育支度費(入学に際し必要な経費)

入学金、制服代、教科書等の入学時にかかる経費など

### ○貸付限度額

#### ①教育支援費

高等学校(専修学校高等課程含む) 月額 35,000円以内

高等専門学校 月額 60,000円以内

短期大学(専修学校専門課程含む) 月額 60,000円以内

大学 月額 65,000円以内



#### ②就学支度費 500,000円以内

【相談・お申込み窓口】地域福祉係 ☎ 68-3434

## 認知症介護者「ほっとサロン」のご案内

介護者がほっと一息できる場があったら…そんな声から、認知症介護者のためのサロンを毎月1回開催しています。

◆開催日: 10/19、11/16、12/21、H31.1/18、2/15 各金曜日

◆開催時間: 午前10時～正午

◆会 場: 田村市役所 1F 101会議室(※10/19のみ 2F 201会議室)

◆内 容: 茶話・交流、認知症に関する学習会、レクリエーション、軽体操、個別相談など

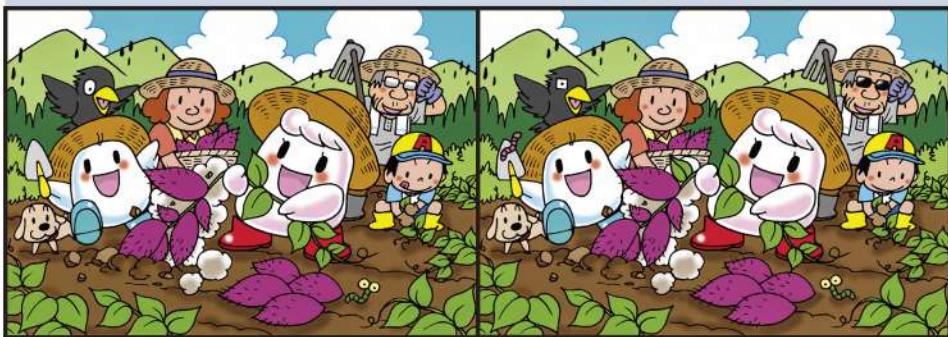
◆対象者: 田村市に居住する認知症の方を介護している家族または、認知症の介護経験のある方。

◆参加費: 100円 ※当日参加可

【お問い合わせ】田村市地域包括支援センター ☎ 68-3737

## 赤い羽根 愛ちゃんと希望くんの まちがいさがし

## 「六平直政さん 直筆サイン入り 福祉文化講演会のうちわ」を 3名の方にプレゼント!



### 応募方法

官製はがきに、①間違い箇所、②お名前、③〒ご住所、④年齢、⑤お電話番号、⑥赤い羽根共同募金や田村市社会福祉協議会または「たむら社協だより」に対するご意見ご感想を明記のうえ、ご応募ください。

※切り抜き貼付による回答・応募は無効

### 締 切

11月30日(金)必着 ※応募者多数の場合は抽選。  
正解・当選の発表は、「たむら社協だより 第50号」(平成31年2月発行予定)でお知らせいたします。

《前回の答え》 ●必勝の文字 ●得点の数字 ●メガネの人 ●サッカーボール ●希望くんのはちまき ●愛ちゃんまつげ ●カーテン 《正解・当選者5名》由香里さん  
／ 平一さん／ 和恵さん／ 克範さん／ 優依さん ※応募総数7通 全問正解者5名 (プレゼント:2017年度版「赤い羽根共同募金×初音ミク」コラボクリアファイル)

## 臨時職員・登録職員募集

田村市社会福祉協議会では、介護事業に携わる職員を募集しています！詳しい内容については、お問い合わせください！



### 募集職種 臨時介護員・登録訪問介護員(パート)

#### 資格

- 臨時介護員：介護職員初任者研修修了・介護福祉士・社会福祉主事のいずれか
- 登録訪問介護員：介護職員初任者研修修了・介護福祉士のいずれか

#### 募集人員

若干名（両職種とも）

#### 募集期間

平成30年10月1日～平成31年3月31日（随時）

#### 給与

- 臨時介護員：日給
- 登録訪問介護員：時給

#### 手当

本会規定による各種手当の支給有り

#### 社会保険

社会保険加入有（週の勤務日数による）

#### 勤務場所

田村市内（本会が運営する通所介護・

訪問介護事業所）※ご相談に応じます

#### 応募方法

来所又は電話にてご連絡ください。

#### 選考方法

面接により、合否を決定のうえ直接通知いたします

※勤務条件等詳細については、本会規定によります

**【お問い合わせ】総務係 ☎68-3434**

## 法律相談のお知らせ

消費者被害・遺言・相続・成年後見などの多様なニーズに弁護士さんが無料で相談に応じます。  
(※相談時間：お一人当たり30分程度)



#### 日時

#### 場所

12月5日(水)  
午後1時～4時

田村市社会福祉協議会 本所

#### ◆申込締切：11月28日(水)

#### ◆相談員：橋本隆亮弁護士（たむら法律事務所）

※相談には予約が必要です。

ご予約は 地域福祉係 ☎68-3434まで

受付時の相談内容によっては、法律相談以外の相談会をご紹介する場合がありますので、予めご了承ください。

## それぞれのコーナーの応募先はこれら

郵便はがきに、各コーナーへの応募内容と、本誌へのご意見ご感想などをお書きの上、住所・氏名・年齢・電話番号をご記入してご応募ください。



- ◎コーナーへの投稿・回答
- ◎住所・氏名  
年齢・電話番号
- ◎本誌へのご意見  
ご感想  
(興味を持った記事など)

62 963-4111  
田村市大越町上大越字古川97  
田村市社会福祉協議会  
たむら社協だより  
（0000）係

### 募集コーナー

- ◎ 目安箱（住民の声） ◎ 時悠人（じゆうじん）
- ◎ Sotto Voce（ソフト・ヴォーチェ）
- ◎ 赤い羽根 愛ちゃん&希望くんの まちがいさがし

- ◎ 希来り☆たむらっこ。（未来を担う子供たちを募集しています）

## 今後開催する事業のお知らせ

赤い羽根を通して音楽で繋がるクリスマス



## お楽しみ抽選会

抽選で、吉沢 梨絵さんの  
「直筆サイン入り色紙」が当たる！



※色紙イメージ

抽選券は、会場ロビー設置の「クリスマスツリー作りコーナー」に参加して頂いた方に配布します。

#### さらに

アンケートに  
協力して頂いた方には  
「平成30年度 赤い羽根共同募金  
クリアファイル（共売品）」を  
もれなくプレゼント！



皆さまの募金運動への参加に感謝して、パートナーミーティングを開催！

12月22日土

12:45 開場 13:30 開演 (16:00 終演予定)

会場 田村市文化センター

入場料 無料

お問合せ 田村市社会福祉協議会 地域福祉係  
☎0247-68-3434 受付時間  
8:30～17:00(平日)

スペシャルゲスト  
**吉沢 梨絵** (女優・  
ヴォーカリスト)

#### (プロフィール)

5歳の頃よりドラマや映画に出演。1997年「Give it up」でエイベックス(VOCALAND)からデビュー。11枚のシングル・2枚のアルバムをリリース。2002年劇団四季に入団。「マンマミーア」「赤毛のアン」「夢から醒めた夢」「ふたりのロッテ」など様々な作品で主演やヒロインを演じる。2009年退団しロンドンに留学。帰国後再びテレビドラマや舞台で活躍中。

#### (出演ドラマ作品)

- 2013 TBS 日曜劇場「半沢直樹」
- 2015 NHK 大河ドラマ「花燃ゆ」
- 2017 TBS 日曜劇場「小さな巨人」
- 2018 TBS 日曜劇場「99.9-刑事専門弁護士-SEASONII」
- 2018 TBS 「義母と娘のブルース」

主催：社会福祉法人田村市社会福祉協議会 /

社会福祉法人福島県共同募金会田村市共同募金委員会



あのひとを、すべての人を、支えたい。

**赤い羽根共同募金**